



Q

「顔中にシミが…。キレイに治すことはできますか？」

20年ほど前の診察で「治らない」と言われ、あきらめて放置していたらシミだらけに…。最近、人に言われて気になっています。やはりシミを治療するのは難しいのでしょうか？

A ほとんどのシミは、レーザー治療が主流です。医療機器もどんどん進化しているので、20年前にダメだと言われても、あきらめずにもう一度トライしてみるのがいいと思います。ただシミといっても、老化のシミ（老化性色素斑）やそばかす、肝斑（かんぱん）、真皮メラノシス、茶あざ（扁平母斑）と、種類はさまざま。1種類のみというのはまれで、複数のタイプのシミが混在しているケースがほとんどです。治療法も、レーザー治療や塗り薬など、シミの種類によって異なります。間違った治療をすると、逆に濃くなってしまふことも…。まずは美容皮膚科で診断を受け、どのタイプのシミなのかを知り、適切な治療を受けることが大切です。

レーザー治療は保険適用外の自由診療で、レーザーの種類にもよりますが標準費用はシミ1カ所3000～5000円。ただし、1回でなくなってしまう人もいれば何回も照射が必要な人もいて、回数にはかなりの個人差があります。それは、シミの種類や数、できた年月、肌質などが人それぞれ違うことが要因。ですから1回でなくななくても、治療を続ける必要があります。ご自身の予算や、かけられる治療期間などを考えながら、“どこまでシミを取るのか？”を、医師としっかり相談してみてください。

また多くの日本人の場合は、シミができていく、また取れにくいのが特徴です。そのためシミのでき始めや、くすみを感じるなどの場合は、初期段階

で治療を。早めに対処することでシミが取れやすく、コストも抑えることができますよ。

美容皮膚科を受診し、まずシミの種類を知ることが大切。適切な方法で治療を



用賀ヒルサイドクリニック
理事長・院長
鈴木雅子さん

◆プロフィール

1994年、東京慈恵会医科大学医学部卒業。同大学皮膚科学教室、国立大蔵病院皮膚科臨床研究部を経て、2000年8月、同クリニックを開設

Q

「足に浮き出るボコボコした血管が気になります」

足の血管がボコボコと浮き出ているのが気になります。足も疲れやすく、むくみもなかなか取れません。治療することはできますか？

A 足の静脈が拡張してしまい、瘤（こぶ）のように膨らんだ状態を下肢静脈瘤（りゅう）といいます。足の血管がボコボコと浮き出たり、青い血管が網目のように浮き出るのは、下肢静脈瘤の症状の第一段階。さらに進行すると、足がだるい、重い、痛いほか、むくんだり、夜中にこむら返りがあるなどの自覚症状があります。下肢静脈瘤は自然治癒はしません。重症化すると、皮膚の黒ずみや色素沈着、皮膚硬化のほか、潰瘍（かいよう）を起こすこともあり、治療に時間を要する場合があります。足に違和感を感じる人は、なるべく早めに医師に相談をしましょう。

下肢静脈瘤の治療法の一つに、静脈の中に細いレーザーファイバーを入れ

て血管をふさぐ“レーザーストリッピング”という手術があります。手術後の傷が目立ちにくいというメリットがありますが、治療費は保険適用外になります。手術時間は約30分です。症状の進行によって個人差がありますが、費用は全額自己負担で約25万円～30万円。

ほかに、ワイヤーを使って静脈を引き抜く“ストリッピング手術”もあります。時間は約1時間～1時間30分で、手術後2時間ほど休んで帰宅できる日帰り手術です。費用は保険治療で3～4万円。

治療法はほかにもあり、それぞれに長所・短所や、患者さんに対する適応があります。診察・検査の結果、医師とよく話し合ったうえで治療方法を決

めてください。気になる人は、まずは検査をしてみるのがいいでしょう。保険適用で2500円程度です。

足の静脈が拡張してこぶのように膨らむ下肢静脈瘤かもしれません。まずは検査をしましょう。



東京ヴェインクリニック
院長
近藤啓介さん

◆プロフィール

1993年、東京大学医学部医学科卒業。国保池中央病院外科、東京大学第二外科、埼玉医科大学総合医療センター外科助手、同大学血管外科助教授を経て、2008年、同クリニックを開設